

保育所給食の現状と今後の取組みについて

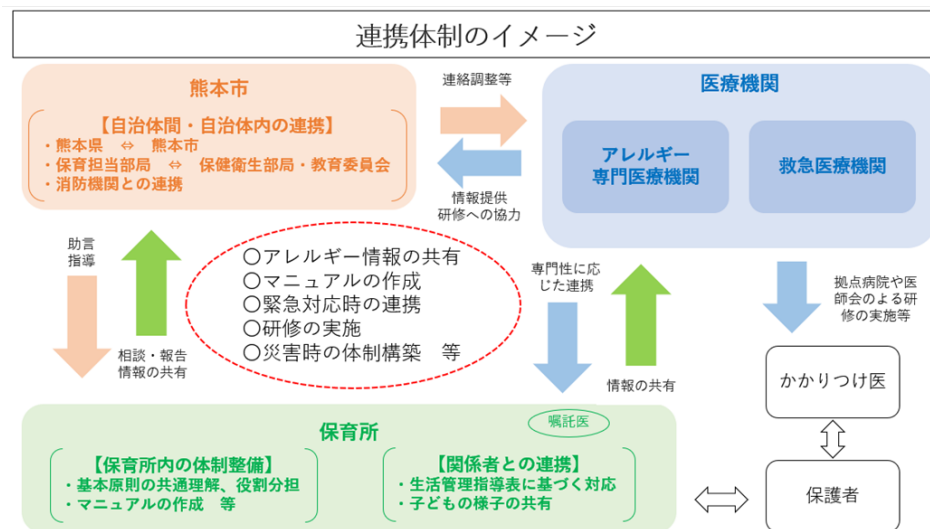
1 食物アレルギー対応

(1) 現状

- 食物アレルギー対応等の特別な配慮を要する園児が増えている。
- 栄養等に関するより高い専門性が求められるようになっている。

(2) 対応

- 食物アレルギーを有する児童並びに保育施設における食物アレルギー対応の実態を把握し、私立も含めた保育施設への支援の在り方を検討する。
- 令和6年度当初予算において、検討会開催経費を計上。
- 検討会は、医療機関、消防機関、教育委員会等関係機関と保育所等の関係者で構成する予定。
- 食物アレルギーを有する児童等に関する情報の共有や、誤食等の緊急時の連携体制を構築する。



2 公立保育所における調理業務

(1) 現状

- 公立保育園においては、給食調理従事者の人員不足が深刻化しており、給食栄養士や会計年度任用職員を充てているものの、人員の確保が課題となっている。
- 給食栄養士が特別食対応や調理業務を担う時間が多いため、保護者支援や食育等の専門性を生かした業務が十分にできていない。

(2) 対応

- 給食調理従事者の人員不足については、引き続き給食栄養士や会計年度任用職員による対応とともに、調理業務の一部委託など、民間活力の活用も視野に入れて検討する。